

学 士 論 文 / 修 士 論 文

タイトルが
長い場合はいい感じに改行

× × 大学大学院 × × × × 研究科
× × × × 専攻 × × × × 分野 × × 研究室
苗字 名前

Abstract / 要旨

Abstract を書きます .

目次

第 1 章	Introduction / 序論	1
1.1	Review	1
1.2	Purpose	1
第 2 章	Device	2
第 3 章	Method	3
第 4 章	Implementation	4
第 5 章	Results/Benchmarks/結果	5
第 6 章	Discussion/考察	6
第 7 章	Conclusion/結論	7
Appendix / 付録		8
A	セクション 1	8
B	セクション 2	8
Acknowledgments / 謝辞		9

第 1 章

Introduction / 序論

Introduction / 序論

1.1 Review

先行研究 .

1.2 Purpose

研究目的 .

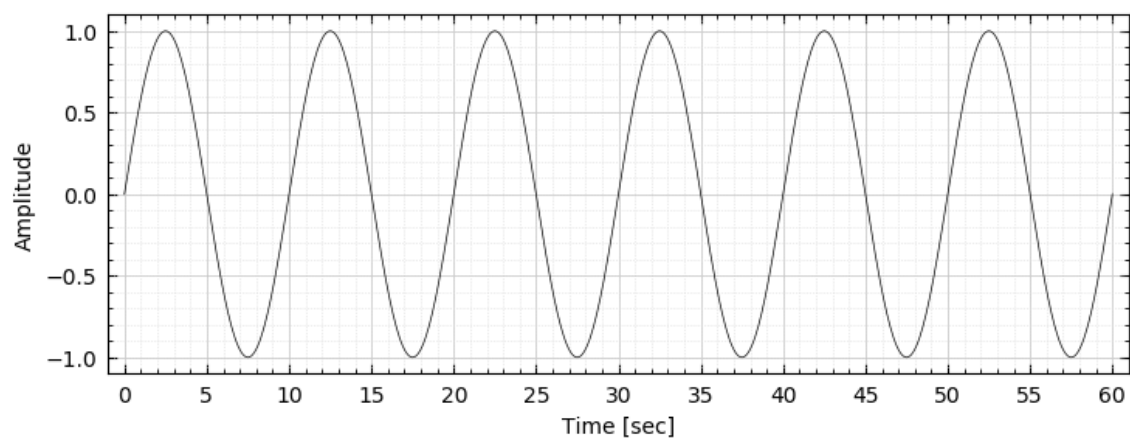


図 1 Sin 波 . 区間 $[0, 60]$ に発生している . 図の説明は , 「名詞句 . 文章 .」の順番に説明するとよい . ここでは PNG 画像を貼り付けているが , pdf 等のベクトル図を貼り付けると , 描画も印刷も格段に綺麗になる . pdf 形式でのグラフプロットは , Matplotlib の出力する拡張子を pdf に置き換えるだけである . なお , 本画像は一部加工されており , 出典は [ADMIS 2018] である .

第 2 章

Device

実験装置 / 観測装置について説明する．タイトルは実験 / 観測装置の名称などにする．

第 3 章

Method

実験手法 / 解析手法 / 等について説明する .

第 4 章

Implementation

Implementation / 実装について説明する .

第 5 章

Results/Benchmarks/結果

Results/Benchmarks について記述する .

第 6 章

Discussion/考察

Discussion/考察について記述する。

第 7 章

Conclusion/結論

Conclusion/結論について記述する .

Appendix / 付録

Appendix / 付録 .

A セクション 1

内容 .

B セクション 2

図 / 表など .

Acknowledgments / 謝辞

感謝の気持ちを述べる .

参考文献

- [1] ADMIS, W. 2018 「C++ から任意の Python 関数を実行する」, URL : <https://admiswalker.blogspot.com/2018/02/c-python.html> .